# 第3期日田市男女共同参画基本計画

## 第一次行動計画（令和3年度～令和7年度）

## 令和4年度事業及び第一次行動計画の進行管理報告書

日田市男女共同参画基本計画推進委員会

施策の体系

| 【基本目標】 | 【重点課題】 | 【施策の方向】 |
|---|---|---|
| 一人ひとりが個性を生かし、活躍できるまちづくり | | |
| 地域・社会では<br>Ⅰ 互いの生き方を尊重しあえる環境づくり | 1.あらゆる分野における方針決定の場への女性の参画推進 | ①政策・方針決定の場への女性の参画推進<br>②女性の人材育成と活動支援 |
| | 2.DV等あらゆる暴力の根絶<br>◆日田市DV対策基本計画 | ①DV等あらゆる暴力の防止及び相談体制の充実 |
| | 3.男女共同参画社会の実現に向けた意識の向上 | ①地域活動における男女共同参画の推進<br>②性別役割分担の是正に対する意識の向上<br>③広報・啓発活動の推進 |
| | 4.学校や地域における国際理解の推進 | ①国際交流を通じた多様な価値観への理解や男女共同参画への学習の推進 |
| 家庭では<br>Ⅱ 家族の一員として互いに協力しあう家庭づくり<br>◆日田市女性活躍推進計画 | 1.家庭における男女共同参画の推進 | ①男女がともに家事や育児、介護等を行う家庭環境づくり<br>②家庭における男女の自立意識の向上 |
| | 2.安全で安心して暮らせる環境の整備 | ①健康管理の充実<br>②豊かな生活をおくるための施策の充実<br>③福祉に関する施策の充実 |
| 職場では<br>Ⅲ個人の能力を発揮して安心して働ける職場づくり<br>◆日田市女性活躍推進計画 | 1.一人ひとりの能力が発揮できる職場環境づくり | ①働く場における男女平等な機会と公平な待遇の確保 |
| | 2.多様な労働形態への理解と環境の整備 | ①男女が共に働きやすい労働環境づくり<br>②女性の起業、活動の支援 |
| | 3.仕事と生活の調和への支援（ワーク・ライフ・バランス） | ①働く男女の家事、育児、介護支援の促進 |
| 教育・学習の場では<br>Ⅳ男女平等教育・学習の環境づくり | 1.男女平等の意識の向上 | ①一人ひとりの人権を尊重する意識の向上 |
| | 2. 学校における男女平等教育・学習の機会の充実 | ①男女平等教育・学習の機会の充実<br>②学校現場での暴力、セクハラの防止及び相談体制の充実 |

個別施策

# 第３期日田市男女共同参画推進計画

# 令和4年度　第一次行動計画進行管理重点課題評価

| | | |
|---|---|---|
| A | 十分な成果を上げた | （ 目標の9割以上） |
| B | ある程度の成果を上げた | （ 目標の7～8割程度） |
| C | 目標の5 割程度の成果に留まった | （ 目標の5～6割程度） |
| D | 目標を大幅に下回る結果となった | （ 目標の4割以下） |
| ー | 評価なし | （ 新型コロナの影響により 事業が実施できなかったもの） |
| ＊ | 事業の終了 | |

## 全体評価

| 基本目標と重点課題 | 評価対象事業 | | | | | | 評価の視点 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | A | B | C | D | ー | 計 | |
| **基本目標　Ⅰ　互いの生き方を尊重しあえる環境づくり** | 13 | 5 | 2 | 2 | 1 | 23 | 令和4年度は、第3期日田市男女共同参画基本計画の第一次行動計画の2年目として、「女性活躍推進計画」と「DV対策基本計画」を「男女共同参画基本計画」と一体化したものとして推進してきた。<br>新型コロナウィルス感染症の影響が軽減された事業もあり、目標の7割以上の成果（評価：A、B）を上げた事業は61事業中、48事業となった(令和3年度は43事業)。また、6事業が目標の5～6割（評価：C）の判定、3事業が目標の4割以下（評価：D）の判定、4事業が新型コロナウィルス感染拡大防止のため事業が実施できず、評価不能として、評価なしとなった。<br>今後も、第3期日田市男女共同参画基本計画により、関係部署と連携しながら目標の7割以上の成果を上げることができるように取り組んでいく。 |
| 重点課題　1　あらゆる分野における方針決定の場への女性の参画推進 | 2 | 3 | 0 | 1 | 0 | 6 | |
| 重点課題　2　DV等あらゆる暴力の根絶 | 7 | 0 | 0 | 0 | 0 | 7 | |
| 重点課題　3　男女共同参画社会の実現に向けた意識の向上 | 3 | 2 | 1 | 1 | 1 | 8 | |
| 重点課題　4　学校や地域における国際理解の推進 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 2 | |
| **基本目標　Ⅱ　家族の一員として互いに協力しあう家庭づくり** | 11 | 3 | 1 | 1 | 2 | 18 | |
| 重点課題　1　家庭における男女共同参画の推進 | 4 | 0 | 0 | 0 | 1 | 5 | |
| 重点課題　2　安全で安心して暮らせる環境の整備 | 7 | 3 | 1 | 1 | 1 | 13 | |
| **基本目標　Ⅲ　個人の能力を発揮して安心して働ける職場づくり** | 7 | 1 | 1 | 0 | 1 | 10 | |
| 重点課題　1　一人ひとりの能力が発揮できる 職場環境づくり | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | |
| 重点課題　2　多様な労働形態への理解と環境の整備 | 2 | 0 | 1 | 0 | 1 | 4 | |
| 重点課題　3　仕事と生活の調和への支援（ワーク・ライフ・バランス） | 4 | 1 | 0 | 0 | 0 | 5 | |
| **基本目標　Ⅳ　男女平等教育・学習の環境づくり** | 8 | 0 | 2 | 0 | 0 | 10 | |
| 重点課題　1　男女平等の意識の向上 | 3 | 0 | 1 | 0 | 0 | 4 | |
| 重点課題　2　学校における男女平等教育・学習の機会の充実 | 5 | 0 | 1 | 0 | 0 | 6 | |
| **事業の計** | 39 | 9 | 6 | 3 | 4 | 61 | |

## 基本目標 Ⅰ 互いの生き方を尊重しあえる環境づくり

| 重点課題 | 1 あらゆる分野における方針決定の場への女性の参画推進 | 評価 | A | B | C | D | ＊ | 計 | 重点課題まとめ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策の方向 | ① 政策・方針決定の場への女性の参画推進 | | 2事業 | 3事業 | 0事業 | 1事業 | 0事業 | 6事業 | ・各種委員会等の登用率は、前年に比べて減少していることから、今後も各種委員会等への女性登用率の向上に取り組む。<br>女性の管理職登用は、令和4年度は令和3年度に比べて減少し、目標値に対して約5割の達成率となった。今後も女性職員の意識を向上させ育成を図るための継続した研修等を重ねながら、女性管理職の登用につなげていく。<br><br>・地域等で活躍できる人材育成のために実施した講座に37名の参加があり目標30人以上を達成した。今後も周知活動を行い、人材の確保につなげていく。 |
| | 【事業名】 1 各種委員会等への女性の参画促進 | B | | | | | | | |
| | 【事業名】 2 市女性職員の管理職への登用 | D | | | | | | | |
| | 【事業名】 3 市職員の職場研修の充実 | B | | | | | | | |
| | ② 女性の人材育成と活動支援 | | | | | | | | |
| | 【事業名】 4 市民活動に関する人材育成と確保 | A | | | | | | | |
| | 【事業名】 5 女性人材の活動支援 | A | | | | | | | |
| | 【事業名】 6 市女性職員の人材育成の充実 | B | | | | | | | |

| 重点課題 | 2 ＤＶ等あらゆる暴力の根絶 | 評価 | A | B | C | D | ＊ | 計 | 重点課題まとめ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策の方向 | ① ＤＶ等あらゆる暴力の防止及び相談体制の充実 | | 7事業 | 0事業 | 0事業 | 0事業 | 0事業 | 7事業 | ・虐待等の防止に向けた取り組みは、関係団体との連携やケース会議、組織体制の充実により虐待等の早期発見や未然防止が図られている。<br><br>・「DV等の被害者保護のための相談窓口の充実」（事業連番12）における「相談員の専門的研修の受講回数」の活動指標においては、昨年に続き100%となりA評価となった。今後もDV被害者等の相談時に適切な対応がとれるよう、相談にあたる職員の研修や婦人相談所との連携を図りながら、事件の未然防止を図る。<br><br>・DV相談は14件(夫等の暴力6件/家庭紛争8件)あり、、家庭相談員等を配置していこども未来課と、相談者が高齢者の場合は長寿福祉課、障がい者の場合は社会福祉課と、それぞれの事案に合わせて対応している。今後も、DV関係の課で調整・連携をしながら充実した相談体制を目指す。 |
| | 【事業名】 7 暴力防止のための啓発活動の推進 | A | | | | | | | |
| | 【事業名】 8 高齢者に対する虐待の防止・権利擁護 | A | | | | | | | |
| | 【事業名】 9 児童に対する虐待の防止 | A | | | | | | | |
| | 【事業名】 10 乳幼児虐待予防の啓発 | A | | | | | | | |
| | 【事業名】 11障がい者に対する虐待の防止 | A | | | | | | | |
| | 【事業名】 12 DV等の被害者保護のための相談窓口の充実 | A | | | | | | | |
| | 【事業名】 13 暴力の形態に応じた相談機関の周知 | A | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |

| 重点課題 | 3 男女共同参画社会の実現に向けた意識の向上 | 評価 | A | B | C | D | * — | 計 | 重点課題まとめ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策の方向 | ① 地域活動における男女共同参画の推進 | | 3事業 | 2事業 | 1事業 | 1事業 | 1事業 | 8事業 | ・平成28年度は熊本地震、平成29年度は九州北部豪雨、令和2年度は7月豪雨と災害が続き、防災・復興における女性の参画の重要性が再認識された。そのような中、女性消防団の活動も地域住民の大きな支えとなった。新型コロナウイルスの影響で多くの活動が制限される形となったが、今後も引き続き、防災士や消防団についての女性の地域活動への参画推進を積極的に支援していく。<br><br>・令和4年度も新型コロナウイルスの影響もあったが、振興局や公民館が主催する男女共同参画に関するセミナーは5回開催された。今後も、地域での啓発活動を継続し、市民の意識向上につなげていく。<br><br>・男女共同参画に関する情報については、より多くの市民に関心を持ってもらえるように積極的に情報提供に努める。 |
| | 【事業名】 14 女性消防団員の登用・活動支援 | B | | | | | | | |
| | 【事業名】 15 日田市の明日の道を想う女性の会の活動支援 | B | | | | | | | |
| | 【事業名】 16 観光分野における人材の育成と活用 | D | | | | | | | |
| | 【事業名】 17 高齢者の地域社会への参画推進 | A | | | | | | | |
| | 【事業名】 18「総合的な学習の時間」の推進 | A | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | ② 性別役割分担の是正に対する意識の向上 | | | | | | | | |
| | 【事業名】 19 男女共同参画の意識づくりの推進 | C | | | | | | | |
| | 【事業名】 20 啓発活動の推進 －事業24再掲－ | ― | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | ③ 広報・啓発活動の推進 | | | | | | | | |
| | 【事業名】 21広報による啓発活動の推進 | A | | | | | | | |

| 重点課題 | 4 学校や地域における国際理解の推進 | 評価 | A | B | C | D | * — | 計 | 重点課題まとめ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策の方向 | ① 国際交流を通じた多様な価値観への理解や男女共同参画への学習の推進 | | 1事業 | 0事業 | 1事業 | 0事業 | 0事業 | 2事業 | ・市内すべての小中学校で、児童生徒とALTとの交流を通して国際理解や異文化への理解を推進することができた。今後も国際理解のための事業推進を継続し、多様な価値観を理解できる国際的感覚を持った人材の育成につなげていく。 |
| | 【事業名】 22 地域における国際理解の推進 | C | | | | | | | |
| | 【事業名】 23 国際理解教育の推進 | A | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |

## 基本目標 Ⅱ 家族の一員として互いに協力しあう家庭づくり

| 重点課題 | 1 家庭における男女共同参画の推進 | 評価 | A | B | C | D | * | 計 | 重点課題まとめ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策の方向 | ① 男女がともに家事や育児、介護等を行う家庭環境づくり | | 4事業 | 0事業 | 0事業 | 0事業 | 1事業 | 5事業 | ・男女共同参画についての理解が深まり、性別に関わらず誰もが自立した生活が送れるようパンフレットによる啓発や子育てに男女が共に参画する子育て支援講座等を全地区公民館で開催するなど、男女共同参画に向けた意識啓発が図られた。<br><br>・公民館等が主体となって、男性の料理教室をはじめとした講座を開くことで、家庭生活における男女共同参画を推進し、女性の自立のための講座や教室を開くことで、女性活躍のきっかけや意識の向上につながっている。今後も、男女共同参画への理解が浸透するよう年代や男女を問わず参加しやすいような事業の企画や内容の検討を図り、家庭における男女共同参画の推進を進めていくことが重要である。 |
| | 【事業名】 24 啓発活動の推進 －事業20再掲－ | － | | | | | | | |
| | 【事業名】 25 啓発資料の作成・配布 | A | | | | | | | |
| | 【事業名】 26 家庭教育セミナーの開催 | A | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | ② 家庭における男女の自立意識の向上 | | | | | | | | |
| | 【事業名】 27「男の料理教室」の開催 | A | | | | | | | |
| | 【事業名】 28 女性の自立のための啓発講座の開催 | A | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |

| 重点課題 | 2 安全で安心して暮らせる環境の整備 | 評価 | A | B | C | D | * | 計 | 重点課題まとめ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策の方向 | ① 健康管理の充実 | | 7事業 | 3事業 | 1事業 | 1事業 | 1事業 | 13事業 | ・たまご学級(両親学級)や乳幼児相談等の相談事業や、母子手帳交付時の保健師との個別面談などにより、夫婦が協力して出産育児を行うという意識の向上が見られた。今後も、出産や育児に不安のある家庭へ個別の支援を行い、妊娠期からの健康管理を図っていく。<br><br>・老人クラブの活動は昨年の882回を大きく上回り1,366回開催され、目標値に対しての達成度は約122%となった。また、生涯学習としての「老人学校」や「すずめの学校」においても、昨年の341回から399回と活動実績を伸ばした。今後も、高齢者が健康で生きがいを持って生活できるきっかけをつくり、地域社会への参画を促進していく。<br><br>・家庭児童相談の運営・充実において、年々支援が必要な児童生徒や家庭が増加傾向にあることや、児童生徒を取り巻く環境が複雑になってきていることから、今後も専門的な相談指導が行えるよう相談員のスキルアップを図り、関係機関との連携を行い、子育て家庭を支援する必要がある。 |
| | 【事業名】 29 育児相談の充実 | A | | | | | | | |
| | 【事業名】 30 妊産婦への健康管理の普及・啓発 | A | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | ② 豊かな生活をおくるための施策の充実 | | | | | | | | |
| | 【事業名】 31「高齢者教室」の開催 | B | | | | | | | |
| | 【事業名】 32 経済的自立の支援(年金受給権の確保) | D | | | | | | | |
| | 【事業名】 33 老人クラブ施設研修の充実 | － | | | | | | | |
| | 【事業名】 34 老人クラブ活動の充実 | A | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | ③ 福祉に関する施策の充実 | | | | | | | | |
| | 【事業名】 35 家庭児童相談の運営・充実 | B | | | | | | | |
| | 【事業名】 36 子育て家庭への訪問支援の充実 | A | | | | | | | |
| | 【事業名】 37 子育てサービス利用者に対する支援の充実 | A | | | | | | | |
| | 【事業名】 38 ひとり親家庭への支援の充実 | A | | | | | | | |
| | 【事業名】 39 介護サービス利用者保護の推進 | C | | | | | | | |
| | 【事業名】 40 介護予防・生活支援サービスの充実 | B | | | | | | | |
| | 【事業名】 41 障がい者支援の充実 | A | | | | | | | |

## 基本目標 Ⅲ 個人の能力を発揮して安心して働ける職場づくり

| 重点課題　1　一人ひとりの能力が発揮できる職場環境づくり | 評価 | A | B | C | D | ＊ | 計 | 重点課題まとめ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策の方向　①　働く場における男女平等な機会と公平な待遇の確保 | | 1事業 | 0事業 | 0事業 | 0事業 | 0事業 | 1事業 | ・労働関係法令等の情報提供については、ポスター掲示やチラシの窓口掲示、広報ひたやホームページへの掲載などにおいて周知が図られた。今後も引き続き、市内の中小企業における公平な待遇の確保については、意識改革のための啓発活動が必要である。 |
| 【事業名】 42 雇用・労働関係法令の周知及び相談窓口等の情報提供 | A | | | | | | | |

| 重点課題　2　多様な労働形態への理解と環境の整備 | 評価 | A | B | C | D | ＊ | 計 | 重点課題まとめ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策の方向　①　男女がともに働きやすい労働環境づくり | | 2事業 | 0事業 | 1事業 | 0事業 | 1事業 | 4事業 | ・農家への情報提供や農業委員の周知活動により農業者年金制度、労働関係法、家族経営協定等の理解を広めている。今後も継続して女性農業従事者の働きやすい環境づくりに努める。<br>・女性の起業支援事業における女性若者企業支援資金の利用者は、目標値に達することができなかった。今後も引き続き、融資を基本とした創業支援を進めていく。 |
| 【事業名】 43 就労の場における男女共同参画の啓発 | － | | | | | | | |
| 【事業名】 44 家族経営協定の推進 | A | | | | | | | |
| 【事業名】 45 農業者年金事業の推進 | A | | | | | | | |
| ②　女性の起業、活動の支援 | | | | | | | | |
| 【事業名】 46 女性の起業支援 | C | | | | | | | |

| 重点課題　3　仕事と生活の調和への支援（ワーク・ライフ・バランス） | 評価 | A | B | C | D | ＊ | 計 | 重点課題まとめ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策の方向　①　働く男女の家事、育児、介護支援の促進 | | 4事業 | 1事業 | 0事業 | 0事業 | 0事業 | 5事業 | ・ハローワークの調査による日田管内育児休業取得者数は、下記のとおり目標は達成している。男性の育児休業取得も増えてきている。今後も、男女ともに仕事と子育ての両立が円滑にできるように関係機関と連携した取り組みを進める必要がある。<br>H27：192人（うち男性1人）　R1：193人（うち男性4人）<br>H28：202人（うち男性1人）　R2：223人（うち男性11人）<br>H29：198人（うち男性0人）　R3：225人（うち男性17人）<br>H30：193人（うち男性4人）　R4：219人（うち男性18人） |
| 【事業名】 47 多様な保育サービスの充実 | B | | | | | | | |
| 【事業名】 48 子育て相談・支援の充実 | A | | | | | | | |
| 【事業名】 49 放課後児童健全育成事業の充実 | A | | | | | | | |
| 【事業名】 50 ホームヘルパーの育成と研修の推進 | A | | | | | | | |
| 【事業名】 51 就労の場における育児休業制度の整備推進 | A | | | | | | | |

## 基本目標 Ⅳ 男女平等教育・学習の環境づくり

| 重点課題 | 1 男女平等の意識の向上 | 評価 | A | B | C | D | ＊ | 計 | 重点課題まとめ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策の方向 | ① 一人ひとりの人権を尊重する意識の向上 | | 3事業 | 0事業 | 1事業 | 0事業 | 0事業 | 4事業 | ・一人ひとりの人権が尊重される社会を目指し、継続的に講演会や講習会を開催し、人権全般の課題として男女共同参画について取り組んでいる。今後も男女平等の意識づくりに向けた講演会や研修会の開催、性別等による差別意識の解消や様々な人権問題の解決に向けた活動を継続していく。また、指導者養成講座は、専門性の高さから市独自での開催は困難なことから、県等が主催する講座へ積極的な参加を促していく。<br><br>・広報による啓発では、市民に問いかけたり、時には語りかけるコラム文で、人権課題を提起することで、課題解決に向けた連帯意識の醸成を図り、差別のない地域づくりを目指していく。 |
| | 【事業名】 52 人権啓発指導者の育成 | A | | | | | | | |
| | 【事業名】 53 人権講演会の開催 | A | | | | | | | |
| | 【事業名】 54 人権学習会の開催 | C | | | | | | | |
| | 【事業名】 55 広報による啓発活動の推進 | A | | | | | | | |

| 重点課題 | 2 学校における男女平等教育・学習の機会の充実 | 評価 | A | B | C | D | ＊ | 計 | 重点課題まとめ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策の方向 | ① 男女平等教育・学習の機会の充実 | | 5事業 | 0事業 | 1事業 | 0事業 | 0事業 | 6事業 | ・全ての小・中学校で男女平等に関する学習会や人権学習会を開催しており、人権講演会については、新型コロナウイルスの影響で中止した小中学校もあったが、6割以上は開催できた。今後も、新型コロナウィルス感染症の状況を見ながら、実施形態等を工夫した開催や公民館と連携しての開催、情報発信等により、保護者や地域の人々の人権意識の高揚を図る。<br><br>・全ての小・中学校で教職員や児童生徒、保護者を対象に、セクハラ防止や体罰防止等を学習している。また、相談体制の強化のため、教育センターに相談員(3人)と臨床心理士(2人)を配置し、心の相談員(6人)については、東部・三隈・南部・北部・大山中の5中学校を拠点として要請のあった小中学校に派遣し、不登校児童生徒を支援した。今後も、児童生徒及び保護者の悩み等への相談体制の充実を図り、学校現場の諸問題を未然に防ぐために、こども未来課やその他の関係機関とも連携をとっていく必要がある。 |
| | 【事業名】 56 小・中学校における男女平等教育の充実 | A | | | | | | | |
| | 【事業名】 57 小・中学校における人権研修の充実 | A | | | | | | | |
| | 【事業名】 58 保護者への啓発活動の推進 | C | | | | | | | |
| | ② 学校現場での暴力、セクハラの防止及び相談体制の充実 | | | | | | | | |
| | 【事業名】 59 体罰防止への啓発促進 | A | | | | | | | |
| | 【事業名】 60 セクハラ防止への啓発促進 | A | | | | | | | |
| | 【事業名】 61 相談体制の充実 | A | | | | | | | |